

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年3月1日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要
















企業・団体名	日本通運株式会社
所在地	東京都千代田区神田和泉町2番地
代表者役職・氏名	代表取締役社長 堀切 智
担当者連絡先	電話：03-6284-6050
	メール：nittsu-kouun-group@nipponexpress.com
ウェブサイトURL	https://www.nittsu.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は1937年設立の総合物流企業であり、日本をはじめ世界各地で事業を展開しております。港湾関係においては主要港をはじめ、日本各地の港湾において港湾運送事業の許可を保有し、コンテナターミナル業務、在来船業務、自動車船業務等を営むとともに、船舶代理店、倉庫・保管、通関、陸上輸送等の幅広いサービスを取り揃え、お客様のニーズにお応えしております。


















3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	【物流企業として、気候変動、資源循環、生物多様性への積極的な貢献】 LED化の推進、環境配慮車両の導入やモーダルシフト、エコドライブの推進による温室効果ガスの排出量削減。	・2013年比でNXグループ全体のCO2自社排出量の【50%削減】を目指す (SCOPE1,2) ・施設照明のLED化 【100%】 (*2021年度実績 63.6% *拠点ベース)
□環境 ✓社会 ✓経済	【すべてのステークホルダーの人権を尊重した企業活動と笑顔あふれる職場の実現】 労働衛生と共に、サプライチェーンを通じて人権を尊重し、社会的・公共的な使命を自覚して誰もが安心して暮らせる社会を実現する。	・管理職就任予定者の人権教育受講率【100%】 (*2021年度受講実績 100%) ・2023年までに年次有給休暇取得率【60%以上】 (*2021年度実績 51.5%)
□環境 ✓社会 ✓経済	【持続的な企業価値向上を支える経営基盤の構築】 持続的な企業価値向上を支えるため、経営の健全性・透明性を確保しつつ、公正で効率的な経営基盤を構築・維持していくことが重要な経営課題の一つと認識している。	・日本国内のNXグループのコンプライアンス教育受講率【100%】 (*2021年度実績 98.5%) ・日本国内のNXグループ全地域におけるコンプライアンス推進者会議の実施 (*2021年度実績 日本国内全地域で実施 *174名参加) ・各年度安全衛生管理方針・定量目標の達成

(次項へ続く)

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	NXグループでは、さまざまな価値観や考えを持つ多様な従業員一人一人が、それぞれの能力を最大限に発揮し、働きがいや誇りを持ち、幸せを感じながらいきいきと活躍する環境をつくることで、従業員と会社が共に成長することを目指しています。このため、「NXグループダイバーシティ推進方針」を新たに策定し、「ダイバーシティ」「働き方の改革」「ワークスタイルイノベーション」を柱に、「意識改革」「風土改革」「働き方改革」「行動改革」の4つの改革サイクルを確実にまわしながら、経営計画の実現に向けた取り組みを進めています。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	NXグループは、物流業界をリードする人財を育成するため、2010年に「NITTSUグループユニバーシティ(現NXグループユニバーシティ(内部組織))」を設立しました。教育体系を一元化し、教育方針の下、毎年度教育内容を見直し、従業員の知識・技能の習得・向上を図っています。また、自ら学び成長する姿勢や、職場風土の醸成に向け、「NXグループ自己啓発の扉」の名で、社員向け通信教育講座を開講しています。語学・リーダーシップ・一般常識など、多様にわたる当社グループの「知」と「技」を結集することで、新たな価値創造に挑戦する人財の育成をグループ全体で推進しています。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	日本通運株式会社は、2019年4月より役割・職務に基づく、仕事の貢献度合いを軸とした社員制度と賃金制度を導入しています。社員と同様の職務内容に従事する有期雇用社員の労働条件については、社員に準じることとし、雇用形態に関わらない公正な待遇とすることで、すべての従業員が、より前向きにポジティブに働くことができる制度としています。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	日本通運株式会社はNXグループ健康保険組合とのコラボヘルスの一環として、スマートフォンやパソコンを活用した健康サポートサービス「みんなの健康ナビ」を通じた従業員の健康増進に取り組んでいます。「みんなの健康ナビ」では、各自の健診データの推移を表とグラフで閲覧でき、食事や血圧・体重・腹囲・歩数などのバイタル記録による自己管理が手軽に行えます。生活習慣の改善に役立つ健康情報メールも配信しており、2021年6月と10月には同ツールを活用したワークショップを開催するなど、従業員の健康づくりを多角的に支援しています。日本通運株式会社は2020年度～2021年度活動実績等を評価され、認定事務局の審査を経て日本健康会議より健康経営優良法人2022(大規模法人部門)に認定されました。			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	NXグループは、循環型社会の形成に向け、事業活動で排出される廃棄物の削減と3Rを推進しています。特に、事業所の廃棄物を減らすリデュースに重点的に取り組んでいます。また、リサイクルしやすい紙類などの分別も徹底して行っています。										11.6	12.4 12.5		14.1				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	日本通運株式会社は、生態系、人の生命、農林水産業の脅威となる外来種生物等の予期せぬ輸送の防止に努めています。各事業所が、環境省、国土交通省、自治体からの情報を基に、特定外来種ヒアリやアカカミアリの発生に十分注意を払い、確認された場合は、関係各所や荷主であるお客様とも連携しながら、殺処理やコンテナの燻蒸処理など速やかに対処しています。特定外来種の危険性がある際には、荷主、地域事情に即した梱包・開梱手順を定めるとともに、その発見時には、即刻作業を中止し、殺虫処理を行うなどの対応を行います。						6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	2021年度 NXグループ(国内)水使用量【1,161千 m3】						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	日本通運株式会社では、1998年6月に航空事業支店の原木地区(千葉県市川市)での認証取得を皮切りにISO14001認証の取得を進め、今後もISOの認証取得の拡大・充実を図っています。また、環境負荷の少ない事業を行う企業に対して与えられるグリーン経営認証を各事業所で取得しています。2022年2月末現在、トラック部門で26事業所、倉庫部門で3事業所が認証を取得しています。			3.9		6	7			12	13.3	14	15					
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	NXグループは、「NXグループ行動憲章」のうち特に「地球環境への責任」を推進し、グループ全体で地球環境への責任を果たしていくため「NXグループ環境憲章」を制定しています。NXグループでは統合報告書、ホームページなどを通じて、当グループの環境対応の取組について開示しています。									12.6								
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	NXグループは、環境に配慮した施設を拡充しています。2021年度の国内の再生可能エネルギー発電量は、6,883,824.88kWh(太陽光発電量:6,849,954.88kWh,風力発電量:33,870.00kWh)となりました。また、物流施設や事務所などを新設する際の設備設置基準を定めており、再生可能エネルギーの活用、LED化などの推進による温室効果ガス削減に一層効果のある設備、生物多様性に配慮した設備や、従業員や地域住民の安全衛生の向上と事業の継続に資する設備であることを基準としています。						7.2					13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	NXグループでは、NX商事株式会社により、グループ各社への環境配慮型のリターナブル資材および、バイオマス配合・生分解性プラスチック等の原材料を使用した環境商材の提案・納入に積極的に取り組んでいます。									12.2	13	14	15					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	NXグループは「安全はすべてに優先する」を安全理念に、事故・災害ゼロにグループを挙げて取り組んでいます。無事故に向けた経営トップからのメッセージ発信や、各支店・課所の安全方針を、職場全体会議を通じて伝達することで、安全への意識を全従業員に浸透させています。各職場では小集団でのボトムアップ活動として、安全確保に関する課題解決に取り組む他、安全チームによる安全ハトールを行い、事故の未然防止に努めています。また、技術・実技指導を行う指導員を養成し、従業員の技術向上と安全意識の高揚を図っています。			3.9								12.4						
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	日本通運株式会社は、WEBサイトに寄せられたお客様からの「お問い合わせ・ご意見・ご要望」を全社で共有できる「お客様相談受付システム(VoCS)」を導入しています。お客様からいただいたご意見・ご要望をデータベース化することで、社会情勢や経済の変化を捉えた新商品の開発やサービス品質の改善等に取り組んでいます。また、引越しサービスでは、サービスを利用したお客様に「引越しアンケート」への回答をお願いしています。アンケートでいただいたご意見は今後のサービス(品質)改善や商品開発に生かし、さらなる顧客満足とサービス(品質)の向上につなげます。										9							
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	NXグループの引越しサービスは、反復資材(繰り返し使える梱包資材)を積極的に使用し、地球環境に配慮した引越しを実現しています。例えば、独自の反復資材「食器トランク」はクッションの敷きつめられたトランクに食器をそのまま入れて運ぶことができるようになっており、新聞紙やダンボールを使わないため、引越し時のごみを減らします。						6					12	13	14	15			

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載して下さい。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載して下さい。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載して下さい。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 東京都千代田区神田和泉町 2 番地

名称： 日本通運株式会社

代表者： 代表取締役社長 竹添 進二郎

登録年月日： 令和 5 年 3 月 2 9 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	【物流企業として、気候変動、資源循環、生物多様性への積極的な貢献】 LED 化の推進、環境配慮車両の導入やモーダルシフト、エコドライブの推進による温室効果ガスの排出量削減。	<ul style="list-style-type: none"> 2013 年比で NX グループ全体の CO2 自社排出量の【50%削減】を目指す (SCOPE1, 2) 施設照明の LED 化【100%】 (*2021 年度実績 63.6% *拠点ベース) 	<ul style="list-style-type: none"> 2030 年目標に対する実績 745,500t-co2 施設照明の LED 化 (*2022 年度実績 83.5% *拠点ベース)
□環境 ✓社会 ✓経済	【すべてのステークホルダーの人権を尊重した企業活動と笑顔あふれる職場の実現】 労働衛生と共に、サプライチェーンを通じて人権を尊重し、社会的・公共的な使命を自覚して誰もが安心して暮らせる社会を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> 管理職就任予定者の人権教育受講率【100%】 (*2021 年度受講実績 100%) 2023 年までに年次有給休暇取得率【60%以上】 (*2021 年度実績 51.5%) 	<ul style="list-style-type: none"> 管理職就任予定者の人権教育受講率 (*2022 年度受講実績 100%) 年次有給休暇取得率 (*2022 年度実績 57.8%)
□環境 ✓社会 ✓経済	【持続的な企業価値向上を支える経営基盤の構築】 持続的な企業価値向上を支えるため、経営の健全性・透明性を確保しつつ、公正で効率的な経営基盤を構築・維持していくことが重要な経営課題の一つと認識している。	<ul style="list-style-type: none"> 日本国内の NX グループのコンプライアンス教育受講率【100%】 (*2021 年度実績 98.5%) 日本国内の NX グループ全地域におけるコンプライアンス推進者会議の実施 (*2021 年度実績 日本国内全地域で実施 *174 名参加) 各年度安全衛生管理方針定量目標の達成 	<ul style="list-style-type: none"> 日本国内の NX グループのコンプライアンス教育受講率 (*2022 年度実績 98.5%) 日本国内の NX グループ全地域におけるコンプライアンス推進者会議の実施 (*2022 年度実績 日本国内全地域で実施 *338 名参加) 各年度安全衛生管理方針定量目標の達成に向けて取り組んでいる